たんぽぽだより（1 学期の様子）

2022.8.2No.40 年中担当：篠田・小松原・秋澤

そら組 13 名（7 月のみ 1 名仲間入り）・ほし組 11 名　合計 25 名の年中たんぽぽさん。6/24（金）に初めて集まり、年齢別活動をスタートしました。まずは、ひとりひとり自己紹介を！！自分の名前と好きな食べ物を皆のまえで発表しました。集まりの始めに絵本「ねこのピート、だいすきなしろいくつ」を読み聞かせしました。ピートに次々とアクシデントが起こるのですがピートはなにがあっても泣かずに♪しろいくつ、かなりさいこ～！しろいくつ、かなりさいこ～♫と歌をうたって前に進むのです。このお話や歌が大好きになり、たんぽぽさんの「テーマ」になりました。「たんぽぽさん、かなりさいこ～たんぽぽさん、かなりさいこ～」

ワクワクハッピー保育に向けて

「たんぽぽさんみんなでどんなことがしたい？」と問いかけると、バスに乗ってどこかに行きたい・プールをしたい・ゲームをしたい・にじくもの部屋であそびたい・お弁当を持って恐竜公園に行きたいなどの声が聞かれました。そこで、ゲーム・天の川づくり、水遊びなどひとつひとつやりたいことを実現していきました。梅雨が明け、連日猛暑日が続き「お弁当を持って出かけるには暑すぎるね！涼しいところはないかな？」と提案し「清水公園のパンフレット」をグループ毎に見て、清水公園って広いね～どこで遊びたい？の問いに、「アスレチックがやりたいな～」「つりができるよ」「プールが楽しそう」「お花、見たいな～」「ポニーがみたいな」等と盛りあがりました。全部は行けないからどうしようか？・・・するとポニー牧場に行ったことのある子から「やぎやうさぎもいるし、すべり台もあるよ！」の声が・・・そこで清水公園の写真を紹介すると、「いいね～！」と全員賛成で「ポニー牧場行き」に決定しました。

次の集まりで、グループ毎にポニー牧場の拡大図を見て絶対遊びたい・見たい場所５つに〇をつけたり、餌やりはどの動物にあげようか？と話し合いました。それぞれここであそびたい！と自分の意見を出しつつも、友だちの意見にも「いいね」「楽しそう」と声が聞かれ“友だちと一緒”の意識をもっている事に嬉しさを感じました。が・・・この時期から発熱や咳・胃腸炎でお休みする子が出てきてしまいました。翌日、☂でしたが、「清水公園は本当に涼しいところか見に行ってみよう」と園バスに乗って下見に出かけました。車窓から見たポニー牧場は木々に覆われ「涼しそうだね～」隙間から見える船やポニーに期待を膨らませていました。

いよいよ！！　ワクワクハッピー保育当日

てるてる坊主効果でお天気快晴！！　でも・・・残念ながら体調が悪く欠席の友だちが・・・16 名の参加となりました。朝からワクワク、そわそわの子ども達！集まりの時間になるとあっという間に全員集合！！

予定時間より少し早目に出発しました。バスの中で「塩分チャージ！」そして楽しくなる方法を確認していると到着！！グループごとに歩いて「ポニー牧場へ」入口で「おはようございます」と係の方に挨拶をする子どもたちでした。

園内のベンチにカバンと水筒を置いて、理事長先生に見張り番をお願いして「さあ～あそぼう！」とグループ毎に出発！大興奮の中でも、移動中はお友だちと手を繋いで歩いていました。ひとり 1 本ずつにんじんをいただき「どうぶつへのえさやり体験」を！うさぎ・やぎ・モルモット・馬とグループで決めた動物のもとへ・・・　ヤギに餌をあげると張り切て行ったのですが、あまりの大きさに圧倒され後ずさりしたり、モルモットに 差し出すとすぐに取られて「もっていかれちゃったー」とびっくり！！もぐもぐ勢いよく食べる姿やくれ～と言わんばかりに首を出す姿にくぎ付けでした。

　大きな遊具も怖がってゆっくり進む友だちを待ちながら一緒に挑戦したり「せんせい！やっほー！」と目を輝かせ、「すずし～い」と風を感じながら遊んでいました。しっぽの青いとかげを見つけてなんていうとかげかな？と夢中になる子も・・・写真を撮って検索し「にほんとかげ」と判明、とかげを戻し、遊びを再開しました。待ちに待ったお弁当！！テーブルとベンチが空いていたのでそこに座ることに・・・「せっかくレジャーシートを持って来たのに！」と言う子もいましたが（笑）お弁当を開くと「ぼくのはね～」と紹介しあったり、楽しさでおしゃべりと笑顔が止まりませんでした。食後は「まだ遊べる？」「もっと遊びたい！」と時間ぎりぎりまで楽しむことができました。

「皆で同じ目的に向かって活動する楽しさを知る。こどものもりでは体験し味わえない自然・動物と触れ合い、のびのびと遊ぶ」ことをねらい**とした、「ワクワクハッピー保育」**の中で子どもたちは相手を思いやる気持ちや挑戦する気持ちを育むことができたと思っています。

ご家庭でも楽しかった一日の様子が聞かれたかと思います。また体調を崩し、参加出来ずに涙した子もいたことでしょう。

是非ご家族で清水公園ポニー牧場に行っていただけることを願っています。